※令和４年度以降入学生用

学校番号	T1202

令和５（2023）年度　保健体育科

教科	保健体育科	科目	スポーツと安全	単位数	１単位	年次	２～４年次
使用教科書	「新高等保健体育」（大修館）						
副教材等	自作プリント・映像教材等						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・スポーツをするうえで避けられない外傷に対して冷静に判断し対応できる力を身につけ、生涯にわたってスポーツと関わることができる知識と技能を身につけましょう。また、どうすればスポーツ外傷を防ぎ、安全にスポーツを楽しむために自己ができる判断力や行動力を身につけましょう。

２　学習の到達目標

・スポーツによる障がいはどんな外傷が多いのか、また、スポーツ外傷が起きてしまった時の冷静な対処方法や、スポーツ外傷（障がい）を未然に防ぐために何が必要かなどについて学び、安全にスポーツを楽しむことができるようにする。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	運動やスポーツを行う際の、その特性や目的、発達の段階や体調などを踏まえて運動を選ぶなど、健康・安全に留意するための知識・技能を身につける。	運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えるための力を養う。	運動やスポーツの意義、学び方や安全な行い方についての学習に積極的に取り組む姿勢を育むとともに自己の能力やライフステージに応じた運動の選択ができる力を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
半期科目	外傷の応急手当について	○下肢の外傷と障がい ・外傷（障がい）の部位や応急処置の仕方について学ぶ。	a:外傷が起こる部位の名称と対処法について理解し、書き出すことができる。 b：外傷が起こる部位等を理解した上で、スポーツ等の安全な行い方について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。 c:スポーツ外傷に関心を持ち、安全にスポーツを行うための方法を考察しようとしている。	ワークシート	ワークシート レポート（調べ学習）	授業態度の観察 レポート（授業振り返り）
		○上肢の外傷と障がい ・外傷（障がい）の部位や応急処置の仕方について学ぶ。	a:外傷が起こる部位の名称と対処法について理解し、書き出すことができる。 b：外傷が起こる部位等を理解した上で、スポーツ等の安全な行い方について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。 c:スポーツ外傷に関心を持ち、安全にスポーツを行うための方法を考察しようとしている。			
		○首・頭部・腰の外傷と障がい ・外傷（障がい）の部位や応急処置の仕方について学ぶ。	a:外傷が起こる部位の名称と対処法について理解し、書き出すことができる。 b：外傷が起こる部位等を理解した上で、スポーツ等の安全な行い方について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。 c:スポーツ外傷に関心を持ち、安全にスポーツを行うための方法を考察しようとしている。			
		○心肺蘇生法実習 ・的確に素早く心配蘇生法ができるようにする。 ・ＡＥＤの必要性を知る。	a:心肺蘇生法の行い方について理解し、実技実習を行うことができる。 b:ある事象に対して素早く必要な処置を判断することができる。 c:実生活で直面した時に素早く正確な行動ができるように取り組もうとしている。	実技試験 ワークシート	実技試験 ワークシート レポート（調べ学習）	授業態度の観察 レポート（授業振り返り）

※令和４年度以降入学生用

	外傷の応急手当について	○研究発表 ・身近なスポーツを例に挙げ、起こりうるスポーツ外傷と対処法、未然防止の方法を調べ、発表する。 ・発表の振り返り	a:外傷の応急手当について理解し、研究発表を行うことができる。 b:調べたことを他者に分かりやすく伝えることができる。 c: 実生活で直面した時に素早く正確な行動ができるように取り組もうとしている。	発表課題	発表課題	授業態度の観察 レポート（授業振り返り）

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度